

『国』内最大の鮎のつかみ捕り？伊豆の国市商工会青年部は今年も、狩野川河川敷の中島グラウンドで『いずのくに・あゆフェスタ』を開催しました。会場には、特設プールが作られ、子どもたちを対象に、延べ千匹の鮎を放流しての無料つかみ捕り大会や早捕り競争が行われました。当日は天候に恵まれ、つかみ捕り大会が大盛況。司会者の合図で一斉にプールに入った子どもたちは、ずぶ濡れになりながら、暑さも忘れて鮎を追いかけました。また会場には炭火による鮎焼きコーナーも設置され、子どもたちは捕った鮎をその場で塩焼きにして、狩野川の恵みを味わいました。

9/6 鮎つかみ捕り大盛況 商工会あゆフェスタ 開催



特設プールに放流された鮎を追いかける子どもたち



市長と握手し激励を受ける太田さん(下)

左から渡部ももさん、高井英彩さん、山口舞夏さん、高橋莉南さん(上)

今、女子水泳界を伊豆の国市の少女たちが席巻しています。さきに行われた第三十一回全国JOC夏季水泳大会の十歳以下女子二百メートルフリーリレーで、葦山南小四年の高橋莉南さん(中)や大仁小四年の高井英彩さん(田京)ら四人が銀メダルを獲得。また日大三島高校二年の太田早紀さん(三福)も、第六十三回国民体育大会、チャレンジ！おおいの国体の少年女子四百メートル自由形の選手として県代表チームに選ばれ、それぞれ市長に報告しました。市長は、最近女の子の活躍がめざましい。将来はオリンピックを目指して」とメッセージを贈りました。

9/8 水泳少女がんばる 小学生・高校生全国で活躍

テニスでも女の子が活躍しました。八月に熊本県で開催された第二十五回全日本小学生ソフトテニス選手権大会に、葦山小六年の池谷実優さん(奈古谷)と同五年の梅原奈央さん(葦山多田)が女子団体の県代表チームのメンバーとして出場し、見事第三位に入賞しました。葦山ジュニアテニスクラブではペアを組む二人ですが、池谷さんの小学校卒業によりペアは解散。梅原さんは、来年も新しい仲間と協力して全国優勝を目指したい、池谷さんは、中学でも大きな大会に出たい」と語り、市長は、強くなる秘訣は「素直」であること。これからは「がんばって」と激励しました。

9/11 Jr.テニス全国三位 池谷さん・梅原さんが県代表



市長正面右から葦山ジュニアテニスクラブ所属の梅原さん、池谷さん、碓井コーチ



今年度百歳を迎える 羽鳥千代乃さん(下)

ちとせ保育園児から記念品をプレゼントされる米寿の皆さん(上・12日)

今年も、七十五歳以上のお年寄りを対象に、アクシスカつらぎで伊豆の国市敬老会を開催しました。二日間計約千人のお年寄りが参加しました。式典では市長が、長生きして豊富な経験や知識を地域や市の発展に役立ててほしい。来年も元気に会いしましょう」と祝辞を述べました。その後、保育園児によるかわいいアトラクション等が披露されると会場からは拍手と歓声があがりました。また敬老会に先立ち、八月二十八日には市長が今年度百歳の長寿者・羽鳥千代乃さんを訪問し、「百二十五歳まで生きられるよう、お元気でいてくださいね」とお祝いしました。

9/12 13 伊豆の国市敬老会 開催

8/23 河川敷の開演ならず 第九回 狩野川薪能

夏の夜の風物詩、『狩野川薪能』。昨年、一昨年に続き、残念ながら今年も天候不順のためアクシスカつらぎでの開催となりました。しかし内容は年を追って質を高め、地元小・中学生が数カ月の稽古を積んだ第一部では、創作子ども能『江間の小四郎』波頭の出、仕舞『吉野天人』、連管『中之舞』と充実した舞台を披露しました。またプロの演者による第二部も、NHKの教育番組でも取り上げられている話題の狂言『蚊相撲』や、江戸時初期に作られた大飛出という貴重な能面が使われる能『嵐山』と、見ごたえ十分の演目で、観客を魅了しました。



年々充実する創作子ども能。写真は『江間の小四郎』



ステージ上でしゃぎりを披露する子どもたち

8/24 伝統文化を披露 第二回子どもしゃぎり大会

昨年から開催されている『子どもしゃぎり大会』。今年は会場をアクシスカつらぎに移し、市内十地区計二百人以上の子どもたちがステージ上で演奏しました。第一部は各団体が六分間ずつ順番に演奏し、個々の技を披露。続く第二部の『競り』では、複数の団体が同時に演奏することで、各団体の威勢の良さを競い合いました。また、ゲスト演奏として大仁雅楽会の『浦安の舞』や、県立修善寺工業高校郷土芸能部の太鼓演奏なども行われ、会場をさらに盛り上げました。大会は、会場を訪れた人や出演者たちにとって、地域の伝統文化を肌で感じる良い機会となりました。

8/24 終始笑顔でプレイ バレーボールフェスin伊豆の国

『県民の日』イベントの一環として、市体育協会が、バレーボールフェスティバルを開催しました。会場の長岡体育館には、市内外から小学生を含む十七チーム約二百五十人が出場し、バレーボールを楽しみました。九人制で一試合を三十分とし、一チームが二試合を行って、ラリーポイント制による得失点差で競いました。試合では、豪快なスパイクやブロックが見られた一方で、チーム同士の親睦や仲間づくりも図られ、コート上では終始笑顔で和やかにゲームが進められました。また試合終了後は、参加者全員によるピンゴ大会も行われました。



終始笑顔で和やかにバレーを楽しむ参加者



多くの市民が参加した葦山運動公園の会場型防災訓練

8/31 いつも心に『防災』を 総合防災訓練

九月一日の『防災の日』を前に、市内各地で自主防災会による防災訓練が実施され、市も葦山運動公園で市職員や消防団、田方消防本部、市建設業協会、市上下水道工業会、自衛隊などを動員しての会場型防災訓練を実施。葦山地区六区から約八百人の市民も参加しました。会場には倒壊家屋からの救出、応急救護、煙体験ハウス、起震車、災害ボランティア本部設置など八種の訓練や体験が用意され、参加した市民は順番に見学・体験しました。市長は参加者に、「訓練を重ねることが地震の被害を最小限に抑える。日ごろから防災意識を忘れないでください」と呼び掛けました。